

地域医療連携総合センターだより

No.66

- I. 薬剤師による入退院支援について
- II. 「登録医」って何？地域医療支援病院の役割について
- III. 治療と仕事の両立支援について



発行：2019.7 釧路労災病院地域医療連携総合センター

薬剤師による入退院支援



薬剤副部長
荒井 宏人

患者さんがより安心して入院・退院生活を送ることができるように、釧路労災病院では患者さんが入院する前から、一人ひとりの状況を身体的、社会的背景等から把握し、患者さんの状況に応じた入退院調整を行い、退院後も含め一貫した支援を行っております。これらのことをペイシェントフローマネジメント(入退院支援：PFM)といいます。今回は病院薬剤師がこのPFMにどのように関わっているのかを地域医療との繋がりや当院の特徴を踏まえて書かせていただきます。

まず、患者さんが外来での診察で入院日が決定した際に服用中のお薬の確認を行います。どのような目的で入院されるのかを確認し、手術や検査を行う予定の患者さんには、休薬が必要となるお薬の確認を医師・看護師とともに薬剤師が行っております。また、得られた服用・休薬状況は入院前から電子カルテに入力しておくことで事前に各職種との情報共有が図られ、より円滑な入院手続きが行えるようにサポートを行っています。入院当日には、持参薬及びそれまでの服用状況の確認を行い、入院後には薬剤管理指導を行います。患者さんの服用状況によっては持参されたお薬の再調剤なども行います。病棟担当薬剤師がいるため、新たに始まったお薬の副作用モニタリングや、退院時に処方されるお薬の説明、減薬提案なども行います。さらに退院後に介護サービス又は障害福祉サービスを利用される患者さんには、街の保険調剤薬局の薬剤師・訪問看護師などと共に退院後の在宅診療・介護支援に関する情報共有を行い、切れ目のない療養ができるように努めています。

当院の特徴としてはがんの治療を受けている患者さんが多く、系列の病院の業務状況と比較すると600床レベルの施設と同等の抗がん剤の調製・投与を行っています。その中で薬剤師の役割は、入院・外来の区別なく、薬剤管理指導、検査結果や病態の状況を踏まえた用法・用量の最適化や減量・休薬基準の確認、注射薬の混合調製、就業支援や生活状況を考慮した処方提案や支持療法の検討などを行っています。薬剤部にはがん関連の認定資格を持つ2名の薬剤師が勤務しており、化学療法センターへの常駐、院内のチームカンファレンスへの参加、病棟の担当薬剤師との連携、文書による抗悪性腫瘍剤投与の説明を行っています。

がん患者さんが多く入院されている当院の特徴を踏まえ、患者さんがより安全・安心して診療を受けていただけるよう、各職種と協力して質の高い診療をサポートしたいと考えております。がん関連の認定資格をもつ薬剤師が常駐しておりますので、何かございましたらご連絡をお待ちしております。



「登録医」って何？地域医療支援病院の役割

検査や入院が必要な時、かかりつけ医からの紹介状により大きな病院で診療を受け、診断が確定したり症状が安定したら、また、紹介状でかかりつけ医に戻る仕組みを「地域医療連携」といいます。これは国が2025年を目途に構築を目指している「地域包括ケアシステム」の一部であり、大規模病院（400床以上）やクリニック等の機能・役割分担を明確にしたものです。かかりつけ医の先生方が釧路労災病院の「登録医」となっていただくことにより、当院の開放型病床において共同で診察できるシステムがあります。登録医の先生と当院主治医が互いに患者さんの治療経過や検査結果等を把握でき、より地域医療連携をスムーズに行うことができます。患者さんにおきましても、かかりつけ医が共同で診察していただくことは大きな安心につながります。

当院はこのような地域医療連携の中核を担う「地域医療支援病院」の指定を受けています。地域医療支援病院とは、地域に必要な医療を確保する目的から、病院・診療所などの「かかりつけ医」を支援する病院です。当院は153施設180名（2019年7月1日現在）の医師に登録していただき、地域医療連携を積極的に推進しています。

【地域医療支援病院の役割・条件】

「かかりつけ医」の先生が、手術など専門的な医療を必要と判断した患者さんに対し、紹介状（診療情報提供書）を発行し、それに基づき適切な医療を提供する病院として、都道府県知事より承認を受けます。

- ・24時間体制の緊急医療を提供する
- ・地域の医療機関に対して、高額な医療機器や病床を提供し共同利用する
- ・地域の医療従事者の向上のため、生涯教育などの研修を実施
- ・施設が、必要な構造を有している

登録医のご案内（手続きについては、当院のホームページをご覧ください）

- ・承認をいただいた医療機関については、当院ホームページにて登録医情報として掲載いたします。
- ・開放病床の利用が可能です。
- ・当院の高額医療機器（CT、MRI、リニヤック等）をご利用いただけます。
- ・当院で開催する医療講演会、学術講演会、臨床病理検討会、症例検討会に参加いただけます。
- ・当院の会議室、図書室等の施設を無料でご利用いただけます。（インターネット無料、電子ジャーナル閲覧）

もしも「サラリーマン金太郎」が中小企業の社長だったら...

治療と仕事の両立支援【特別マンガ】公開中!



当院のホームページにて治療と仕事の両立支援について、特別マンガを公開し、わかりやすく説明しております。両立支援についてのご相談は、平日の時間帯において随時、承っておりますので代表電話にてお問い合わせ願います。

<http://kushiroh.johas.go.jp/>

くしろろうさいびょういん

検索

両立支援コーディネーターが、ご相談を承ります。

釧路労災病院

(代) 0154-22-7191

平日時間帯 8:15~17:00